

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表：1/2）

公表日：2026年1月8日

保護者等数：17名 回収数：12名 割合：70%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

チェック項目		は い	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	10	1	1	0	・体を動かす活動の時は狭く感じる。
	2 職員の配置数は適切であるか。	12	0	0	0	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	11	0	0	1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1	0	0	・お弁当やおやつの匂いが充満している時があるので、換気（空調）をしてほしいです。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているか。	11	1	0	0	・保育所等訪問を導入してもらいたいです。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っているか。	11	1	0	0	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思うか。	12	0	0	0	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思うか。	10	1	0	1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思うか。	11	0	0	1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか。	11	1	0	0	・利用時や日々の活動内容は不透明に感じます。夏休みなどの長期休暇中利用時は、前もってどこに行きますと提示があるので理解しやすいと感じています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	6	3	・もっと児童館や地域交流などを図ってもらいたいです。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	12	0	0	0	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	12	0	0	0	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	8	3	0	1	・また、是非開催していただきたいです。 ・学年ごとの座談会を行なってほしいです。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができているか。	11	1	0	0	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか。	12	0	0	0	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思うか。	11	1	0	0	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	1	7	4	0	・3ヶ月に一回など定期的に交流の機会があれば嬉しいです。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	11	1	0	0	・意見に対して初動が迅速なのでとても信頼しています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思うか。	11	1	0	0	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか。	11	1	0	0	
	22 個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	12	0	0	0	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表：2/2）

公表日：2026年1月8日

保護者等数：17名 回収数：12名 割合：70%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

		チェック項目	は い	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	10	1	0	1	・不透明です。避難訓練がある（しました）しか、理解できていないです。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。	11	1	0	0	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思うか。	12	0	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思うか。	10	1	0	1	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	・とても居心地よく過ごせています。
	28	こどもは通所を楽しみにしているか。	11	1	0	0	・友達と会えること、好きなおやつが並んでるか、など小さなことですがワクワクしながら通所しています。
	29	事業所の支援に満足しているか。	11	1	0	0	・これから利用を継続したいです。 ・大変お世話になっております。いつも客観的な視点で現在の状況や課題を分析して、適切な支援をして下さり、ありがとうございます。また、母の気持ちを理解して優しい言葉をかけて下さり、いつも味方でいてくれてありがとうございます。先生方のサポートのお陰で毎日頑張ることができています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

放課後等デイサービスにおける自己評価結果（公表：1/3）

公表日：2026年1月8日

スタッフ数：7名 回収数：7名 割合：100%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・一つの場所に密集しないよう活動スペースを分散したり、注意がたもてるよう仕切りを使用する等、人数や発達特性、活動内容にあわせた環境設定を行っている。（過密にならないよう、見通しを保てる環境を維持）
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・利用人数、定員に合わせた人数配置を調整し、死角をなくすことを目的に、臨機応変に連携が行えるよう配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は障がい者の特性に応じ、リハビリや情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・活動の見通しが立てやすい環境（スケジュール、自立活動、伝達方法の教示等）子どもの発達段階に応じた設定を行っている。 ・危険箇所の把握や共有を行い、必要に応じた補修や補助を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日、使用した物品、場所の清掃を行っている。 ・週1回、全体点検及び清掃を行っている。（月ごとの計画に基づき） ・エアコンや空気清浄機の清掃を定期的に行い、清潔な環境を保っている。 ・湿度、気温に配慮し空調管理を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・仕切りを使用し、休憩スペース、自立課題スペース等を設定している。 ・休憩スペースの使用の仕方を絵カードで掲示している。個別部屋の使用方法について適切な教示を行い、誰もが使用できる態勢を整えている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。	7	0	・毎日の申し送り及び月1ミーティングにて事業所及び各自の目標や課題設定、業務に関する振り返りを行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・事業所の強み弱みを精査し、強みに関してはさらなる資質向上を、弱みに関しては具体的な課題を上げ改善に取り組んでいる。 ・取り組みの様子や、結果を通信やSNSにて発信を行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・月1回のミーティング時に業務の課題や振り返りを行っている。 ・日々の申し送り時に意見交換を行う時間を設定している。 ・意見について改善策を考え、実行、振り返りを行い、改善に繋げている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	・現在外部機関は利用していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・外部研修や月に一度事業所内研修に参加できる体制を整えている。 ・研修報告書を職員間で共有し、多角的な視点や支援技術を学べるようにしている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・年間指導計画を作成しており、年度初めに保護者に通知を行っている。 ・年間を通して個々の支援計画に基づき支援プログラムを作成している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・標準化されたアセスメントツール等（NCプログラム、人との関わりシート、Vineland）を使用し、個別支援計画書を作成している。 ・面談や家庭訪問、日々の送迎時にニーズを把握し、分析、課題検討し、計画書の作成を行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下でこどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・定期的な支援会議を行い、子どもの最善の利益に基づき作成し支援の方向性を共有している。 ・計画に基づいた支援が行えるよう随時連携をとっている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・支援会議にて児発管より計画書の説明を行い、支援を行っている。 ・朝の申し送り時に、再度個別の計画について確認を行い、計画に沿った支援を行っている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマットや、日々の行動観察なども含むフォーマットなどを使用する等により確認しているか。	7	0	・NCプログラム、人との関わりシート、Vinelandを用い、定期的にツールを用いたアセスメントを行い、子どもの発達状況の確認を行っている。 ・日々、週、月にて行動観察を行い、様態変化や発達状況に迅速に対応を行っている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービス提供の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・ガイドラインに基づき、本人支援、家族支援、移行支援、地域支援についての計画を作成している。 ・具体的な支援内容および、個別に応じた配慮や手立てを設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・年間指導計画に基づいて、季節や発達に応じたプログラム内容の詳細をチームで話し合い立案している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・目的を明確にし、創作、運動、SSTなど多様な活動を提供し、個々に応じてプログラム内容に工夫をこらし、固定化を防いでいる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・隔週で集団療育、個別療育を行っている。 ・個々に応じて、個別、小集団、大集団へと段階的に参加機会を設け、個別支援計画に基づき、目標に応じた活動設定を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チーム連携して支援を行っているか。	7	0	・業務開始前に申し送りの時間を設け、支援内容を共有している。 ・支援内容が変更の際は、担当職員が報告を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・気づきや改善点は、その場で職員間で共有をしている。 ・終了後にできなかった場合は、次の日の朝に行っている。 ・共有した内容を後日他職員にも伝達、職員全体で振り返る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・その日のうちに記録は完結し、必要に応じて個々の支援課題を洗い出し、改善策を申し送り時に職員間で共有している。 ・支援課題を共有ボードに書き出し、検証、改善を抜き行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・3カ月～半年に1回モニタリングを行い、計画書の見直しや保護者の意向確認を行っている。
	24	放課後等デイサービス計画の「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・自立支援、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の4つを組み合わせ療育活動に取り組んでいる。 ・季節や適宜機会を設けながら支援を行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・選択肢の提示等、子どもの意見をくみ取れるよう構造化を行い支援に繋げている。 ・活動スケジュールや時間を自己決定できるようにしている。 ・おやつ時や、余暇時など、自己決定できる活動を取り入れている。

放課後等デイサービスにおける自己評価結果（公表：2/3）

公表日：2026年1月8日

スタッフ数：7名 回収数：7名 割合：100%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児発管、担当職員が参加している。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・各分野の関係機関と適宜連絡をとり、共通した支援を行えるようにしている。 ・担当者会議やケース会議にて情報共有や課題共有を行っている。 ・学校（参観日、行事がある際、適宜）見学を行い、情報共有を図っている。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・各学校の年間計画を共有し、適宜情報共有を図っている。 ・連絡調整についてはマニュアル化を行い、迅速な対応を行っている。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・適宜見学やケース会議を設け、情報を共有している。 ・就学前に家庭訪問や小学校への情報提供を行っている。 ・担当者会議等をし、支援内容等、共有理解をしっかりと行っている。
	30 学校を卒業し放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・児の支援内容、特性等をまとめ、書類を作成し、就労先への情報共有伝達を行っている。 ・保護者、児から聞き取りを行い、最新の情報を提供している。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	・支援センター主催の研修に参加している。 ・見学をしていただいたり、ケース会議にて助言を受けたりしている。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	・児童館や地域の公園等の利用をしている。 ・地域の公共施設の利用を行っている。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	・協議会へ積極的に参加を行っている。他機関との意見交流を行っている。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時に当日の様子や支援内容を申し伝えている。 ・モニタリング時に課題や意向をお伝えしている。 ・必要に応じて相談支援の機会を設けている。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	・家族等の参加可能な研修や茶話会の実施、通信にて周知を促している。 ・保護者のニーズを把握するためヒアリングを行っている。 ・保護者が参加しやすい形式（日時、曜日、オンライン、短時間等）の工夫を講じていく。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時や必要に応じて書面にて、運営規定や年間の支援プログラム等の説明を行い、同意を得ている。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・子ども、保護者の意向をお伺いし、個別支援計画書に記載、同意を得て支援にあたる。 ・家庭訪問にて意向を確認している。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・個別支援計画書を用いながら、支援内容の説明を行い、同意を得ている。 ・不明点は無いた確認も行い、順序だてて具体的に説明を行っている。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・適宜、個別に時間を設け、相談、助言を行っている。 ・専門職と連携し、多面的な支援が講じられるよう機会を設けている。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	・保護者会は行えていないが、送迎時に保護者同士で関わる機会あり、情報交換が行えている。 ・勉強会、講座等、定期的な開催を計画していく。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・迅速に職員間で課題、改善策を共有し、業務改善に努めている。 ・職員全体で改善を行い、保護者への説明等を行っている。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・月一回の通信発行や定期的なSNS発信を行っている。 ・Instagramを活用し、日々の様子を発信している。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報取扱いについて契約時に保護者に同意を得ている。 ・SNS、写真共有時にスタンプ加工やモザイクなどの匿名化を徹底している。 ・書類は施錠できる棚に格納し、机上放置防止を徹底している。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・電話、メール、連絡帳を通して円滑に伝達し合えるツールを使用している。 ・書面や図面、具体物を用いて共有の柔軟性に配慮している。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	・地域の公共施設を利用し、地域交流を行っている。 ・バザー等を開催し、地域住民の招待を計画していきたい。

放課後等デイサービスにおける自己評価結果（公表：3/3）

公表日：2026年1月8日

スタッフ数：7名 回収数：7名 割合：100%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年間安全計画に基づき月1回以上、訓練を行っている。 ・各安全対策についてマニュアルを作成し、常時確認できるようにしている。 ・採用時には必ずマニュアルの読み合わせを実施している。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回以上、防災訓練を行っている。 ・防災バックの点検を定期的に行っている。 ・業務継続計画の策定をし、定期的な研修を行っている。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・受診歴、服薬の情報を初回アセスメント時に確認を行っている。 ・変更確認を随時行い、おくすり手帳等の控えを保護者から受け取っている。
	49 食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーや好き嫌いの聞き取りを行い一覧にしている。（現在対象者なし）
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所や物品破損についてチェックシートを用いて整備や補修を行っている。 ・毎週の清掃の際、点検を行い、修繕が必要な際は迅速に対応している。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・通信やSNSにて発信している。 ・引き渡し訓練時に周知している。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録のフォーマットやマニュアルに基づき、対応、情報共有、改善策の提案、実行を行っている。 ・業務開始前に職員間で想定されることについて共有している。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待チェックリストの自己チェックや研修を行っている。 ・虐待につながる支援について等の研修を行い、意識啓発を行っている。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・現在該当はない。 ・契約時に説明を行っている。 ・研修にて三原則「切迫性・非代替性・一時性」の理解を深めている。

事業所における自己評価総括表（公表）

○事業所名	児童多機能型事業所プラス・スタイル（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R7年10月22日～R7年11月17日		
○保護者評価有効回答数	（対象者数）17人	（回答者数）12人	
○従業者評価実施期間	R7年10月22日～R7年10月31日		
○従業者評価有効回答数	（対象者数）7人	（回答者数）7人	
○事業者向け自己評価表作成日	R7年12月25日		

【分析結果】

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【満足度】 こどもは安心感をもって通所している。 （保護者:はい12/どちらとも0/いいえ0/わからない0）	・活動の見通しが立てやすい環境(スケジュール、自立活動、伝達方法の教示等)子どもの発達段階に応じた設定を行っている。 ・仕切りを使用し、休憩スペース、自立課題スペース等を設定している。 ・休憩スペースの使用の仕方を絵カードで掲示している。個別部屋の使用方法について適切な教示を行い、誰もが使用できる態勢を整えている。	・今後も、職員間の情報共有を徹底し、安全で安定した支援体制の維持・向上をはかり、お子さまの成長と自立を支える支援を提供していく。
2	【適切な支援の提供】 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されている。 （保護者:はい12/どちらとも0/いいえ0/わからない0） こどもと保護者のニーズや課題を標準化されたツールを用い客観的に分析し、放課後等デイサービス計画を立案し、具体的な支援内容にそって、活動プログラムが固定化されないようにチームで立案し、工夫した支援を特性に応じて提供し、定期的にモニタリングや支援の検証を行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。 （従業者:はい7/いいえ0）	・NCP、W、VinelandⅡ、PECS、人との関わり方などのフォーマルなテストの実施と聞き取りやヒアリング等のインフォーマルなテストを適宜行っている。 ・児発管→担当スタッフが中心となり、全スタッフへの周知共有を行っている。 ・月間のフォーマルに基づき、個々の特性や季節に応じて臨機応変に組み立て、内容の変更、適宜見直しや工夫点をチームで考えている。 ・日々の記録を記入漏れのないように、項目に沿ってそれぞれ記入している。改善につなげるために記録から行動分析を行ったりと、スタッフ全体の支援の質の向上を行っている。 ・時期を明確化し、保護者様と話し合い見直しを行っている。	・放課後等デイサービス計画を基に、保護者様と共にお子様の成長にしっかりと向き合い、充実かつ効果的な発達支援を提供していくことができること、また、記録を通して、お子様の課題や現状、必要な支援が保護者様と共有が行えるよう、スタッフ間で研修を行い記入のスキル向上を行う。 ・専門的な知識の向上とそれにとまなう実践スキルの向上を目指し、多角的な研修プログラムを立て啓発を行う。 ・一貫した支援が行えるよう、支援者同士で相互チェックを行う環境を整える。
3	【保護者への説明等】 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がなされている。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされている。 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている。 個人情報の取り扱いに十分注意されている。 （保護者:はい12/どちらとも0/いいえ0/わからない0） （従業者:はい7/いいえ0）	・契約時や必要に応じて書面にて、運営規定や年間の支援プログラム、個人情報の取扱いについて等の説明を行い、同意を得ている。 ・子ども、保護者の意向をお伺いし、個別支援計画書に記載、支援内容の説明を行い、同意を得て支援にあたっている。 ・不明明是無いか確認も行い、順序だてて具体的に説明を行っている。 ・定期的な家庭訪問や適宜、個別に時間を設け、相談、助言を行っている。 ・SNS、写真共有時にスタンプ加工やモザイクなどの匿名化を徹底している。 ・書類は施錠できる棚に格納し、机上放置防止を徹底している。	・個別相談だけでなく、グループでの学習会や、茶話会などの機会を通して、悩みの共有や、支え合いの場の提供を行っている。 ・実際の支援を参観し、具体物や構造物を使って体験をしていただくことでより理解を深めていただける場を設けていく。
4	【業務改善】 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会を確保するとともに、業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している。保護者や職員からの意見を聴取し把握している。	・毎月法人内研修を実施しており、外部研修については告知し、適宜参加している。 ・受けた外部研修の伝達講習を行っている。 ・全体目標と個別目標を月毎に立て、実行、振り返りを行い、良い所や改善点の共有ができている。 ・毎月(個別)振り返りや面談を行っている。 ・属人化しない支援体制の構築ができている。	・業務改善の成果を「見える化」し、進捗の効果の共有、改善のための実行計画を立て、全スタッフで実行していく。 ・定期的に効果のアセスメントを行い、迅速な改善に取り組む。
5	【関係機関や保護者との連携】 担当者会議や関係機関との会議へ参画し、情報共有や相互理解を図っている。また、日頃から子どもの発達状況や課題について共通理解が図られるように機会を確保している。	・適宜ケース会議等に児発管を主に担当職員や主任が参加し、情報共有を行っている。 ・相互に訪問し合い様子の共有を行っている。 ・来所時、降所時、送迎時に必ず保護者様に声を掛け、様子の聞き取りや伝達を行っている。 ・送迎時、家庭訪問、事業所内相談を適宜行い、お子様の様子や今後の課題を話し合っている。	・事業所だけで療育を完結するのではなく、ご家庭や関係機関と連携し支援体制の強化が行えるよう、各機関のリソースの共有を行い、より効果的な支援の提供を行っている。 ・保護者様へケース会議開催の啓発を行う。 ・会議以外にも適宜電話やオンラインにて情報共有を行っている。
6	【非常時の対応】 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われている。 （保護者:はい12/どちらとも0/いいえ0/わからない0） 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。 （従業者:はい7/いいえ0）	・危険箇所や物品破損についてチェックシートを用いて整備や補修を行っている。 ・毎週の清掃の際、点検を行い、修繕が必要な際は迅速に対応している。 ・災害発生時スムーズに動けるように、各種マニュアル化を行い、年間の計画に基づき、様々な想定をして毎月訓練計画作成および実施している。 ・通信やSNSにて訓練の実施報告や防災予防等、啓発発信をしている。 ・採用時には必ずマニュアルの読み合わせを実施している。 ・引渡し訓練を行っている。	・年間計画に沿った実施だけではなく、個々の利用児童の実行機能能力の把握を行い、想定外の訓練にも迅速かつ適切な対応力が向上するよう訓練を継続していく。

	事業所の強み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【環境・体制整備】 こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか。 （保護者:はい10/どちらとも1/いいえ1/わからない0）（従業者:はい7/いいえ0） 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 （保護者:はい11/どちらとも1/いいえ0/わからない0）（従業者:はい7/いいえ0）	・活動スペースは運営基準を上回る広さを確保しているが、体を大きく動かす活動時には、参加人数や活動内容によっては、動きの制限を感じやすい状況である。 ・事業所内には空気清浄機（エアドック）を設置しており、適宜窓開け換気による空気環境の維持にも努めているが、食事内容や時間帯によっては匂いが残りやすい状況である。	・現在の広さを前提としつつ、活動内容や人数に応じた配置の工夫をし、お子さま一人ひとりが安心して参加できる支援方法を検討し、継続的に改善につとめる。 ・ご意見を踏まえ、食事やおやつ時間帯には、これまで以上に換気や空調の調整を意識的に行っていく。
2	【適切な支援の提供】 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているか。 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っているか。 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか。 （保護者:はい11/どちらとも1/いいえ0/わからない0）（従業者:はい7/いいえ0） 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思うか。 （保護者:はい10/どちらとも1/いいえ0/わからない1）（従業者:はい7/いいえ0） 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思うか。 （保護者:はい11/どちらとも0/いいえ0/わからない1）（従業者:はい7/いいえ0）	・お子さま一人ひとりの状況や特性を把握するため、日々の活動や関わりの中での様子や聞き取りにてアセスメントを行い、放課後等デイサービス計画に基づいた支援を行っている。また、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の各視点を踏まえた支援項目を設定し、活動プログラムについても複数の内容を組み合わせて実施しているが、支援の目的や意図、活動の内容が十分に伝わっていない状況である。	・定期的な面談で丁寧な支援の目的や意図、具体的取り組みを分かりやすく説明し、支援方法や環境について意見交換を図っていく。 ・活動プログラムについても内容や方法の工夫を継続し、柔軟な支援の充実を図っていく。
3	【保護者への説明等】 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができているか。 事業所の職員から共感的に支援をされていると思うか。 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思うか。 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか。 （保護者:はい11/どちらとも1/いいえ0/わからない0）（従業者:はい7/いいえ0）	・定期的な家庭訪問や随時の相談や申入れに対しても迅速に対応し、対応内容は記録に残し、支援計画や日々の活動に反映し、お子さまの生活・発達状況を保護者の皆さまと共有している。また、活動概要や行事予定、連絡体制についても、日々の連絡帳や毎月発行の通信、適宜のSNS等を通して情報を発信しているが、支援や対応が目に見えにくく、保護者に「やっていない」と感じられる場合がある状況である。	・ご意見を踏まえ、今後は、定期的な面談に加え、面談可能日を可視化し、相談体制をさらに明確にしていく。 ・随時、アンケート等を実施し、ニーズを把握し、ご要望にお応えできるよう努力していく。
4	【非常災害時の対応】 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思うか。 （保護者:はい10/どちらとも1/いいえ0/わからない1）（従業者:はい7/いいえ0） 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。 （保護者:はい11/どちらとも1/いいえ0/わからない0）（従業者:はい7/いいえ0）	・各種マニュアルを策定し、毎月安全計画に基づき、発生を想定した訓練を行っている。また、日々の支援の中でも、お子さまの安全確保を最優先に行動しており、環境設定や職員配置に配慮することで、大きな混乱や不安を示す行動は見られず、落ち着いた様子で見られるが、保護者の皆さまへの説明や周知が十分でなかった状況である。	・保護者向けのお知らせや面談等を通じて、安全管理体制等について、より分かりやすくお伝えする機会を設けていく。 ・事故やヒヤリとする事案が発生した際には、経過や対応内容が分かりやすく伝わるよう、説明方法や内容の統一を図り、必要に応じて書面等を活用し、保護者の方が後から振り返ることができる形での情報共有を検討する。
5	【満足度】 こどもは通所を楽しみにしているか。 事業所の支援に満足しているか。 （保護者:はい11/どちらとも1/いいえ0/わからない0）	・お子さまの興味関心に沿った支援内容の調整や工夫が不十分な状況である。 ・支援への納得感や安心感につながる意見交換が不十分である状況である。	・お子さま、保護者の皆さまの思いやご意見を尊重し、安心・安全な事業所運営を大切にしながら、より良い支援を目指していく。
6	【適切な支援の提供】 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 （保護者:はい1/どちらとも2/いいえ6/わからない3）（従業者:はい7/いいえ0）	・児童館や地域の公園等公共施設の利用しており、お子様も楽しそうに活動する様子も見られるものの、保護者様のお感じになっている十分な機会には至っていない状況である。	・活動内容や参加機会について、保護者様によりわかりやすく周知するとともに、交流の回数や形態の改善を検討していく。
7	【保護者への説明等】 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。 （保護者:はい8/どちらとも3/いいえ0/わからない1）（従業者:はい2/いいえ5） 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。 （保護者:はい1/どちらとも7/いいえ4/わからない0）（従業者:はい0/いいえ7） 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。（従業者:はい0/いいえ7）	・通信や家族の参加可能な研修等の案内など、情報提供が中心で、参加機会が限定的である。 ・計画的な支援の場づくりがなされておらず、ニーズの把握（開催内容・日時・所要時間・開催場所等）が適切に行えていない。 ・地域の施設の利用はあるが、事業所内での開催に関しては防犯や事故等安全上のリスクを鑑みて行えていない。	・保護者が参加しやすい形式(日時、曜日、オンライン、短時間等)の工夫を講じていく。 ・保護者会発足に対しての支援をしていく。 ・小規模な交流会や行事を試行的に実施し、参加状況、意見・感想の収集し、保護者様のニーズに沿った継続可能な形に整理し、定例化を検討していく。